

常葉学園だより

常葉学園本部
 常葉学園大学・大学院
 浜松大学・大学院
 富士常葉大学・大学院
 常葉学園短期大学
 常葉学園高等学校・中学校
 常葉学園橋高等学校・中学校
 常葉学園菊川高等学校・中学校
 常葉学園大学教育学部附属橘小学校
 常葉短大附属こはな幼稚園
 常葉短大附属たちばな幼稚園
 常葉学園医療専門学校
 常葉学園静岡リハビリテーション専門学校
 常葉リハビリテーション病院

第200号・記念号



「常葉学園だより」創刊号

200号 発刊にあたって

常葉学園理事長 木宮 健二

今日、我々は平成25年4月に向けて、学園発祥の地である静岡市の水落町で法学部と看護医療学部を新設するとともに、学園内3大学を統合して新たに11学部を擁し、短大を含め在籍者数約八千名の総合大学「常葉大学」を作るため苦悩しているが、考えてみれば、全国誰しもがトコハと読み、「ああ、センバツで優勝したあの常葉菊川の…」と言ってくれるようになったからこそ、新大学に常葉大学という名称を付けることができたという側面もある。

創刊号、第100号の巻頭言はむろん、いずれも当時の理事長である木宮和彦学園長が執筆しているが、十数年後の第300号の巻頭言を誰が、どのような想いを持って書くのか、そしてその時に常葉大学がどこまで成長し、地域に磐石な地位を確保しているのかは、神のみぞ知るである。

我々、学園に携わる者が日々を、そしてこの瞬間、瞬間をいかに大切に、常葉とともに生きるのかが今、問われている。

「常葉学園だより」の創刊号は昭和52年4月、第100号は平成5年10月に発行されており、それぞれ34年前、18年前となる。

創刊号の記事を見ると、創立30周年の式典、研修センター、菊川高の8階建校舎や常葉美術館の建設等の記述があり、30年以上前の3高校1短大時代の息遣いが感じられる。当時を知る教職員が少ななくなったのも時の流れといえよう。

第100号の記事には、2大学1短大(当時の常葉学園富士短大、現在の富士常葉大)が相次いで新設され、創刊号当時に比べ、学生・生徒等の在籍者数が倍になったと記されている。バブルは崩壊したものの、私学経営にとってはなおも右肩上がりの絶頂期であったのだろう。そしてなぜか第100号の表紙の写真には、第75回全国高校野球選手権記念静岡大会で、常葉菊川高のバトンガールが応援している風景が掲載されている。これを読んでいる皆さんも御承知のように、この第200号を発刊する4年半前に常葉菊川高は春のセンバツで甲子園初優勝を果たし、3年前の夏の甲子園で準優勝を勝ち取るのだが、この写真はこれを予言するのかの如きである。

常葉大 静岡市長とお茶カフェ・トーク



田辺市長を囲んで

10月5日、常葉学園大学で「市長とお茶カフェ・トーク」(主催：静岡市役所広報課)が開催され、常葉学園大学の学生15人が静岡市の田辺信宏市長とテーブルを囲んで対話を行いました。「市長とお茶カフェ・トーク」は市長と市民がお茶を楽しみながら意見交換をする場として、年約10回の予定で開催されています。今回のテーマは「静岡市の資源を生かしたまちみがき」。大学生から見た静岡市の魅力、魅力の発信方法などについて、市長からの問いかけも含め活発なディスカッションがなされました。活動を通じて「市政に自分たちも関わっているという考え方が持てた」などの声もあり、学生にとっては地域との関わりを見直す機会となりました。

浜松大 学生が考案した米粉料理が地元レストランで商品化

9月14日、米粉食品の普及を目的として浜松大生が考案した「ガ・レロ」の試食会が開催されました。地元レストラン「とんきい」に大学関係者、JA職員らが集まりました。「ガ・レロ」は昨年度米粉FOODコンテストで最高金賞を受賞した商品。今回は、素材の特性を活かし、地元の豚肉、野菜、米粉を使用して商品化しました。10月1日より販売されています。



とんきいの社長と考案者の杉山さん

常葉中・高 芸術祭



9月14日市民文化会館にて芸術祭が行われました。中・高演劇部、音楽部、琴部、ダンス部、吹奏楽部、新体操部が日頃の練習の成果を披露し、レベルの高い、息の合った演奏や演技、ダンスを観ることができました。3年生にとっては引退前の大舞台となり、思い入れの強さが伝わるような演技に大きな拍手がおくられました。来年はどんな舞台になるか、今から楽しみにになりました。

菊川中・高 中学・全校交流会

9月29日(木)～10月1日(土)に中学生は全校交流会(キャンプ)に出掛けました。今年も、前年までの富士山麓山の村から、御殿場にある国立青少年交

流の家に舞台をうつし、大自然の中で学年を超えた絆を深めることができました。中でも、1日目は富士山新5合目から6合目を散策。宝永山火口を見学していると、野生のカモシカに出会い、貴重な経験をすることができました。



絶好の青空の下富士山散策



キャンドルファイアー

常葉短大 学生作品 ブックデザイン



私の『注文の多い料理店』

日本語日本文学科の授業には様々なメディアによる自己表現を実践する授業があります。各授業時の作品はその都度図書館に展示するようにしています。現在展示しているのは「ブックデザイン」(九月集中授業)の作品です。有名な文学作品を自分なりの読後感を踏まえ、単行本にする場合の表紙・背表紙、それに帯を作り、見た人が「!？」と、手に取りたくなるように工夫しています。今年は宮沢賢治『注文の多い料理店』と太宰治『人間失格』のいずれかを選び、一定条件の下に作りました。写真はその一部で、制作した学生一人一人の感性がにじみ出ています。他の授業、「絵本を作る」では思い出を色と絵、文字で表す「カラーヒストリー」絵本を作っています。

橘中・高 静岡県立大学出張講座

10月21日、一貫、特進、英数科の1、2年生を対象に、静岡県立大学食品栄養学部の市川陽子准教授をお招きして、栄養学の見地から「食と健康」についての講演をしていただきました。生徒たちは朝食の重要性や生活習慣病、スポーツ選手の食事のあり方などのお話を聴き、健康な身体をつくることはもちろん、勉強や運動で活躍するためにも食事はきわめて大切であるということに改めて気づかされたようでした。



浜松大 地域で学生防犯ボランティア活動実施

細江警察署金指駐在所勤務員と地域ボランティアおよび浜松大学の学生達は、天竜浜名湖鉄道金指駅周辺の高齢者宅を訪問して防犯広報を戸別に行いました。また、浜松市内の小学校2校で行われた防犯教室でも



不審者の力を綱引きで体験

学生がボランティアとして参加しました。6月に細江警察署と防犯ボランティアの協定締結後、学生達は、地域防犯活動に積極的に取り組んでいます。

富士常葉大

保育学部「公開授業」開催！

10月22日(土)フジヤマリゾート『ぐりんぱ』にて、保育学部3年生77名による公開授業を開催しました。当日は悪天候にも関わらず、たくさんの観客の皆様が会場に来てくれました。学生たちは、今まで学んできた保育の技術や協同の精神を活かし、学生ならではの元気のある表現や独創的な発想を十分に発揮しながら、初めて出会う子どもたちや観客を巻き込んで発表することができました。参加してくれた子どもたちは、最初は恥ずかしそうにしていたのですが、学生が子どもたちの所へ行くと一緒に小さな体を動かしていました。短い時間でしたが笑顔溢れる楽しい時間を過ごすことができました。

後日、観客の方からお礼と励ましのメールを頂きました。



常葉短大

学生初の研究保育



落ち葉であそぼう！

専攻科保育専攻1年生は、ここは幼稚園・たばな幼稚園で、4月から継続的に週1回研究実習を行っています。その成果のひとつとして、ここは幼稚園では10月20日に「秋を感じよう～どんな遊びができるかな～」、たばな幼稚園では10月21日に「ふじぐみすべしゃるらんど」と題した「研究保育」を実施しました。両園ともに全員で協力して作りあげた指導案をもとに、年長クラスを対象に、園庭にダイナミックな遊びができる環境を設定し、代表者が保育を行いました。「研究保育」の後には、幼稚園教諭、短大教員、専攻科生が一堂に会した研修会を開催し、専攻科生にとって大変有意義な経験となりました。

第6回スポーツフォーラム

『スポーツの現在(いま)と将来(これから)』開催

総合経営学部スポーツマネジメントコースの学生が中心となり企画運営する、スポーツフォーラムが大学祭に合わせて開催されました。講師に元女子バレーボール日本代表で現在、東レ(株)所属の大山加奈さんを迎え、体験談を踏まえた講演とバレーボール教室が行われました。250名を超える聴講者や教室に参加した地元の高校生には、大変貴重な体験となりました。



静岡リハ専

就職ガイダンス開催

4年生全員が参加し、10月31日(月)にホテルアソシア静岡で行われました。第1部「組織形態別説明会」では、病院・施設の先生方による組織及び仕事の特徴、求める人材に関する説明を聴きました。第2部「卒業生との交流会」では、始めに3名の卒業生から就職活動や国家試験対策等についてスピーチをして頂き、その後の食事を通して、卒業生や病院・施設の先生方と有益な交流ができました。



ガイダンス風景



真剣に耳を傾ける学生たち

橘小 オーケストラ学習、がんばっています！

橘小学校の12月恒例行事となりましたオーケストラ学習発表会が12月9日(金)静岡市民文化会館大ホールにて開かれます。(会場13:30開演14:00)この日に向けて、現在、児童一人ひとりが一生懸命練習に取り組んでいます。今年の



グランドフィナーレは6年生が演奏する「フィンランディア」にのせて、常葉大・松本進先生が作詞した「美しいこの地球の」という歌を全校で合唱します。

富士常葉大

「ふじとこ未来塾」中間報告会



ふじとこ未来塾は「文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム」として取り組んでいる事業です。本学の専門性及び地域の特性を生かして、地域産業・地域社会の様々な課題に学生が主体的かつ創造的に活動しています。卒業生や外部評価委員、教員、学生ら50名が出席し、中間報告会を平成23年10月30日、大学祭の2日目に開催しました。4年生の松本佳沙音さんの司会で参加7企画の中から6グループが中間報告をしました。発表学生は事前準備も万全で取り組み、発表内容や発表技法も向上し、今後に期待が高まっています。最終報告会は来年の2月8日予定です。

生の中からは6グループが中間報告をしました。発表学生は事前準備も万全で取り組み、発表内容や発表技法も向上し、今後に期待が高まっています。最終報告会は来年の2月8日予定です。

常葉大

外務省「外交講座」



▲外務省「外交講座」講演風景

10月26日、外国語学部の言語文化研究会では、外務省による「外交講座」を開催しました。会場には400人を超える学生が集まりました。『国際公務員になるには』というテーマで、外務省国際機関人事センターの伊藤賢穂室長に海外で働くための情報やアドバイスを話していただきました。学生からは「外務省や国際公務員という仕事に親近感がわいた」「世界の人口問題や国連ミレニアム開発指標について知ることができた」「途上国でがんばっている日本人の姿を見ることができてよかったです」「国際公務員は狭き門ではあるけれど、今これが持った」といった感想が寄せられました。今後このような学生たちの視野を広げる機会を設けていきたいと考えています。

常葉中

食の安全教室



取ることが必要だと教えていただきました。生徒たちはワークシートに沿ってその日食べた朝食のバランスがどうかを振り返り、改善点を確認することができたので、今後の生活に活かすことを期待します。

10月26日静岡市教育委員会事務局学校教育課内藤様にお越しいただき、「栄養バランス大作戦」と題して講義をしていただきました。20歳までは身体が成長する時期なので、丈夫で健康な身体を作るためには赤・黄・緑に色分けされる食品をバランスよく取ることを目指します。

菊川中・高

体育祭



▲クラスのために力走



▲オーエス！オーエス！

9月27日(火)本校グラウンドにて、体育祭が行われました。中学・高校が縦割りの6つの色のブロックに分かれ、各種目で競い合いました。「みんなでレッツゴー」では、男子が10人11脚、女子が5人6脚で競走し、息を合わせてゴールまで全力疾走しました。その他、綱引き、棒取り、台風の日、長縄跳び競争、リレーが行われました。熱戦の末、今年は白集団の優勝で幕を閉じました。

静岡リハ専

第14回連合体育祭



1・2年生を中心に「15人16脚」「バールンバレー」に出場しました。15人16脚では、どのクラスも足なみが揃わず苦戦していましたが、バールンバレーでは、見事優勝することができました。競技に参加しなかった3・4年生も応援でムードを盛り上げ、クラスだけではなく、学校全体の団結力を感じた1日になりました。



▲連合体育祭満喫しました



▲白熱した試合風景

医療専

防災訓練

10月29日、消防署員の方々を招いて防災訓練を行いました。近年、大きな災害が発生し、多大な被害が出ていることから、学生達にも防災の意識が高まっており緊張感のある防災訓練を行うことができました。学生達は消防署員の方々にアドバイスをもらいながら消火器の使い方を確認し、消火訓練を行いました。



▲消火訓練をする学生達

富士常葉大

浴衣着付教室開催



平成23年10月6日(土)に本学体育館和室において、伝法まちづくりセンターの齊藤由美先生を講師に向かえ「浴衣着付教室」が開催されました。日本文化体験をテーマにした企画で、編入留学生・留学生別科生26名が浴衣を実際に身につけて、日本の服飾文化と浴衣の着付を学ぶとともに、小物の名称なども教えていただきました。

浜松大

第24回キトルス祭開催



▲模擬店の前で



▲学生が企画することもむら

浜松大学の学園祭『第24回キトルス祭』を、11月5日・6日に開催しました。けやき広場には模擬店が立ち並び、また、こども健康学科主催の「こどもむら」では、地域の子どもたちがゲームや「ふわふわ」などを楽しみました。恒例の浜大奇席には、地域のお年寄りが多数来場され、笑いの渦が湧きあがりました。また、今年は「E-TIKING」のライブを実施。12000名の観客が集まり大いに盛り上がりました。体験イベントあり、講演会あり、ライブあり、フリーマーケットありの楽しい2日間でした。

常葉中・高

高2GSコースイギリス修学旅行



▲シェークスピアの生家の前で

9月26日～10月13日まで高2GSコースの生徒がイギリスのストラットフォードへ語学研修に参加しました。出発前は一人一家庭でのホームステイに不安でしたが、まななな生徒も帰国後は「ずっと滞在していたかった」という感想が聴けるほど充実したものでした。語学学校での研修に加え、名所・旧跡を見学したり、イギリス伝統文化に触れるなどこの研修で学んだことは今後の人生においてきつと役立つと思います。この体験を自信として今後の学習に励んでほしいと思います。

菊川中・高

高2美・デ科修学旅行



▲スケッチをする生徒達
美しい風景

美術デザイン科では、日本の自然や伝統文化のすばらしさに触れ感性を磨くことを目的に、10月17日から4泊5日の修学旅行を実施し、2年生が参加しました。金沢では、兼六園や武家屋敷跡等を見学し、友禅染・九谷焼・金箔工芸を体験しました。世界遺産五箇山では、合掌造の民宿に宿泊、囲炉裏を囲んで楽しい時を過ごし、落ち着いてスケッチにも取り組みました。長浜、高山の風情ある町並みも見学でき、充実した研修になりました。

橋中・高

中等部 秋の遠足



9月30日、中等部で秋の遠足が行われ、修善寺にあるサイクルスポーツセンターへ行って楽しい汗を流してきました。6人乗りの自転車や円盤形の自転車、水上自転車などに乗ってはしゃぎまわったり、5キロコースキットやマウンテンバイクのコースで大自然を満喫しながら真剣に走りまわったりと、生徒も教員もみんなで思う存分楽しんできました。

橋小

行って来ました、
沖縄英語研修

10月19日から21日までの2泊3日、第6学年児童が英語体験学習を行いました。今年度は東日本大震災の影響で、昨年までの研修地ブリティッシュ・ヒルズ福島県から沖縄に研修地を移して実施しました。当地にあるレスターミドルスクール(Lester Middle School)ではパートナーのアメリカの6年生との学校見学や給食、授業参加など、アメリカンスタイルの学校生活を体験しました。午後にはアメリカ人家庭を訪問し、お喋りしたり、一緒に遊んだりして楽しい時間を過ごしました。また、児童は、首里城やひめゆり資料館見学を通し、沖縄の歴史を学ぶと共に平和についても考える機会を持ちました。



▲レスターミドルスクール前で
記念撮影



▲レスターミドルスクールでの
授業風景

がんばる卒業生

浜松市中区役所 社会福祉課勤務

浜松大

袴田晋矢さん

経営情報学部 平成14年3月卒業



放課後、児童が安心・安全に過ごせるように

今振り返ると、大学時代はほとんど野球の思い出ばかりです。創部したばかりで、毎日試行錯誤しながら練習に励んでいました。あと1勝すれば「神宮」というところまで行けたことは、とても良い思い出となっています。

現在は、浜松市中区役所・社会福祉課で、子どもの福祉から大人や高齢者の福祉、生活全般についての業務を行っています。なかでも「共働きの家庭で児童が安心・安全に過ごせる場所づくり」として学童保育に取り組んでいます。学童保育は週6日の放課後、宿題や外遊びなどボランティアの指導のもとで運営されています。いつも順風満帆というわけではありません。集団生活の難しさ、待機児童の問題、保護者の勤務状況に合わせた開放時間の問題など、様々な課題があります。子どもたちが自宅にいるような雰囲気ですぐ過ごすことができ、

子どもたちの安全を確立できるように取り組んでいます。

仕事の傍ら、職場ではソフトボール部に所属しています。ポジションはショート。野球と違い、意外と打てない、守れないでびっくりしました。野球と違ったスピード感が怖いけど、反面おもしろくて夢中になっています。昔の野球仲間とソフトボールのリーグ戦で当たるのも楽しみです。現在、年間40試合くらい行なっています。数年前、私の所属するチームが国体の静岡県選抜になりました。でもそこまで…。東海大会で優勝しないと国体には出られないのです。でも、いつかは是非とも国体に出場してみたいです。

これからも仕事とソフトボール、メリハリをつけて浜松市民の皆さまのお役に立ちたいと考えています。

常葉大



国際的視野を備えた教師の育成を目指して～教職大学院～

10月1日から10日まで、「海外教育観察実習」をアラブ首長国連邦及びギリシャ共和国で実施しました。本実習へは教育学部生と教職大学院生の21名が参加し、海外の教育政策や教育制度、教育方法等について現地校を訪問しながら具体的に学びました。また、日本人子女が学ぶ日本入学校へも訪問し、教育や教師の在り方を深く考える機会となりました。本実習での体験や経験をもち、個々の学生が国際的視野から新しい学習や指導を創り出し、展開することができる実践力を一層高めるべく期待しています。

ドバイの小学校視察の様子

静岡リハ専



静療祭開催!

静療祭

10月22日に静療祭が開催されました。夏休み明けから準備を始め、ステージ公演や模擬店など様々な企画が行われました。クラスでまとまって取り組む場面も多く、学生一人ひとりが積極的に自分の役割を担い、充実した学園祭になりました。



模擬店風景

富士常葉大



保護者懇談会開催

9月10日(土)に保護者懇談会が行われました。保護者会には、300名を超える保護者が来学し、全体会・個別面談を行いました。保護者アンケートの中には、「学校での子供の様子がわかり安心した」「先生方の熱心な思いが伝わり、参加してよかった」などの言葉をいただきました。好評に終了することができました。

浜松大



最優秀賞受賞の健康栄養学科川上ゼミ生

ビジネスプランコンテスト開催

学生の夢をカタチに。事業化の高いビジネスプランを募集した「浜松大学学生ビジネスプランコンテスト2011」は11月5日のキトルス祭初日、最終審査会が行われ応募者12名の中から健康栄養学科川上ゼミの落合遼さんが最優秀賞を獲得しました。テーマは「鹿肉を美味しく食べて地域活性化プロジェクト」です。今後は、浜松地域テクノポリス推進機構の指導を受け、12月12日(月)の浜松市主催「浜松ビジネスコンテスト」最終審査会に臨みます。



気軽に楽しめるSUP

浜名湖 SUPプロジェクト始動

健康プロデュース学部・心身マネジメント学科の教員と学生が中心となり、浜名湖スタンドアップパドル(SUP)プロジェクトが始動しました。SUPを通じて、浜名湖を拠点とした「環境」「健康」「地域」づくりにコンセプトとした活動を実践していきます。9月4日には、浜名湖レイクサイドプラザにてSUP体験イベントを予定していましたが、台風接近のため残念ながら展示のみとなりました。今後活動も続けていきます。



展示会場の前で

常葉中

施設訪問



橘中・高

陸上記録会

9月13日、草薙総合運動場で橘中・高等学校初の校内陸上記録大会が行われました。当日は晴天に恵まれ、リレーをはじめ、走り幅跳びや走り高跳び、プラスチック製のヤリを投げるジャベリックスローなどの競技に日ごろ鍛えた力を発揮してくれました。また、懸命に競技する仲間を一生懸命に応援する生徒たちの姿もたいへん印象的でした。

中学生は福祉講座として障害者福祉・児童福祉・高齢者福祉に分かれて学習をしますが、3回目となる10月14日、実際に施設を訪問しました。学年の枠を超えて縦割りの班を作り、児童や高齢者と触れ合うことで普段はできない体験をすることができました。限られた時間で手遊びや紙芝居・歌を練習し、当日は一生懸命に披露して施設の方々に喜んでいただくことができました。

Table with columns for school type, department, and enrollment numbers for various faculties and departments.

常葉短大



遊んだ後は、みんなで手遊び

子育て広場 ととことこ広場

常葉短大では、月に2回、専攻科保育専攻学生の授業の一環として、子育て広場・ととことこ広場を開催しています。子育て広場では、地域の親子を対象として、学生が活動内容を企画し、運営しています。子どもたちの年齢は、生後3ヶ月から3才位までさまざまですが、回を重ねるごとに成長が見られ、学生にとって大きな学びの場となつていきます。お母さまにとっては、「ここに来ると広場では、場所を開放し自由に遊んでいたが、お母様と子どもたちが十分に遊べるようになっていきます。また広場が終わった後も、皆さんで賑やかに昼食を食べ遊んでいけるので、本科学生にとっても、子どもたちと身近に触れることができ、貴重な体験となっております。

平成23年度 『ととこ広場』

感想文コンクール



- 最優秀賞
- (リハ専) 糠谷 麻彩
 - (常葉高) 田中すみれ
 - (橘高) 出口雄一朗
 - (常葉中) 米津 実咲
 - (菊川中) 原田 美月
- 優秀賞
- (常葉大) 松井 香澄
 - (リハ専) 井出 真央
 - (短大) 望月なつ子
 - (常葉高) 齊藤 裕花
 - (橘高) 永田 舞姫 豊泉 響子
 - (菊川高) 岡本 真季
 - (常葉中) 伊東ひかる
 - (橘中) 大内 梨央
 - (菊川中) 村松 奏南
- 入選
- (常葉大) 大庭 礼 大石 桃子 大川 綾織
 - (短大) 山田 恭子 勝呂麻里奈
 - (常葉高) 栗下 純奈 大石唯公美 佐藤万優子
 - (橘高) 岩井 翔太 水野 真希 渡邊つかさ
 - (菊川高) 谷高 真寛 若生 彩夏
 - (常葉中) 渡原 このみ 伊東かおる 遥
 - (菊川中) 市川 綾香 河守 真由 増田 尚美

常葉大



学生ホール・図書館リニューアル

夏休み中に本館1階学生ホールと1号館1・2階図書館をリニューアルしました。学生ホールは太陽光がたくさん降り注ぐ、明るく・くつろげる空間に改装し、テーブル配置も数パターンに配置、女子学生向けにはパウダールームも設置し、やさしい空間になりました。図書館は落ち着いて学習できる滞在型図書館に改装しました。1階はキャレル席、2階はラウングスペース、そして資料検索のためにiPadも導入し、自主的な学習を支援して行きたいと考え

図書館学習スペース

「つわくおいしそー!」砂遊び大好き。汗をかくほどの秋晴れの10月。毎日散歩にでかけますが、今日は常磐公園の砂場で砂あそび。新しく買ってもらったカラフルなバケツやたらいを使って、大きなケイキのできあがり!10月5日に雨の中、どんぐり遠足に行つて集めてきた大きいどんぐりを飾りつけをして、誕生日のうたをうたったり、ケーキカッとして食べる真似をして楽しみました。掘った穴に水を入れて、足を入れてパチャパチャしたり、山を作ったり、遊び放題!!裸足になって、砂の感触を楽しみ、砂だらけになるほど大喜びで遊びました。



保育サービスセンター



おおきなピアノだな~!!

グランドピアノが入ったよ!



常葉中学生と遊んだよ

年長 おいもほり

10月28日と11月2日にさつま芋の収穫で葵区の山間部寺島へ行ってきました。このさつま芋は年長児が6月に苗を植えたものです。草取りに行った7月には、さつま芋の蔓はぐんぐん伸び子どもたちの身長を超えるほどに成長していました。当日は、大きなお芋を収穫することに期待を膨らめ、さつま芋畑に向かいました。友達と競争しながら1番大きなお芋を見つけることを目指し、燃えていた子ども達。1番大きなお芋は1.2kgもあり、大満足の1日でした!これから焼き芋やサラダにして食べることが楽しみです。



おきいもおいしいなあ♪

とこは幼

こんなに大きなお芋だよ!

たちばな幼

幼稚園に神様が来たよ

年少 参観会



今年も秋まつりの係の保護者の皆様の企画で楽しい秋まつりが行われ子ども達もドキドキワクワクな一日をすごしました。登園するとホール入口等に飾りつけがしてあり、それを見て更に大興奮の子ども達。いよいよ時間になりホールに行くと、マメールと読み聞かせの方々の「スイミー」の劇をみたり、体操や手遊びをしました。そして、メインイベント、琉神の皆様による演出。幼稚園に神様が来たという事で獅子が登場、あまりの迫力に泣き出す子もいましたが、沖縄の伝統的な踊りを見たり、太鼓や三線に合わせてカスタネットを叩いたり、最後は団扇を持って全員でカチャーシーを踊って大満足な秋まつりになりました。



学園だよりの歩み



154号
2002.10.5
常葉高バス全国制覇



創立60周年
記念号
2006.6.1



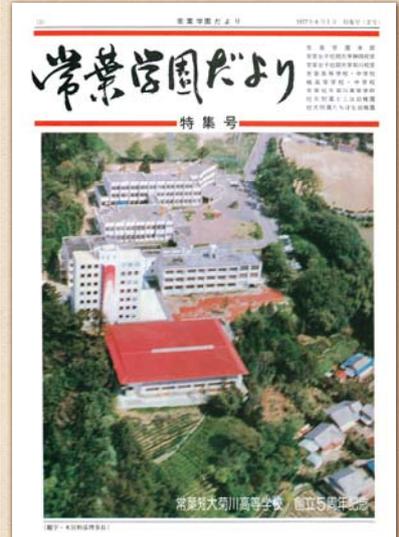
177号
2007.4.25
菊川高選抜野球全国制覇



新入生特集号
2006.4.1



151号
2002.4.25
時代の流れてA4判に



特集号2号
1977.6.1
初めての特集号

「常葉学園だより」151号から200号を製本いたします。バックナンバーをお持ちで製本を希望される方は、本部まで送付ください。実費で製本いたします。（本部 総合企画室）



第14回 常葉学園 連合体育祭

平成23年11月1日
於：草薙陸上競技場

初めての試みで、大学・短大・専門学校の学生は体育館と草薙陸上競技場、中学・高校生は草薙陸上競技場、小学生・幼稚園児は補助競技場の3会場に分かれて開催しました。秋晴れの空の下で、思いっきり競技に励みました。



常葉学園の学生・生徒・児童・園児ここに集う

歩調を合わせて…15人16脚



大学・短大
専門学校

バレーボール

アタック!



トス!

白熱する
クラブ対抗リレー



開会式



理事長挨拶



橘小児童の選手宣誓



難しい ボール入れ



タイヤは重たあ〜い



中学・高校生



掛け声掛けて5人6脚



闘志むき出し
学年別リレー



白勝て!



綱引き

小学生
幼稚園児

赤勝て!



橘小児童と両園園児が
仲良く競技

ダンスの
パフォーマンス

